

2003年9月9日

## 「社会環境報告書2003」の発行

このたび、JR東日本グループの環境などへの取り組みをまとめた「社会環境報告書2003」を発行いたします。今回は、グループ会社の環境負荷データも開示するなど情報を拡充するとともに、より多くの方にご理解いただけるよう、ハイライト編と詳細編の2部構成とすることなど構成面での改善も行なっています。

### 1 社会環境報告書の発行

当社は、毎年環境保全に関する取り組みをまとめた環境報告書を作成してきましたが、昨年からは社会面（安全、サービス、地域貢献、社員の働きがいなど）や経済面（キャッシュフローの創出、IR活動など）での内容を含め、社会環境報告書として発行しています。今回作成した「社会環境報告書2003」は、関係各方面へ幅広く配布いたします。なお、今回はダイジェスト版も作成し、社員の環境意識をさらに高めるために全社員へ配布するほか、様々なイベント等でも配布してまいります。

今回作成した社会環境報告書の主なポイントは、次のとおりです。

グループ会社の情報について、CO<sub>2</sub>や廃棄物の量など、定量的な環境負荷を含めると同時に、定性的な活動内容の記述も充実しました。

専門家から一般の方まで、幅広い皆様にお読みいただき、ご理解いただけるよう、2部構成としました。前半で、JR東日本グループの主要な取り組みをハイライト編として紹介し、後半でさらに詳しく知りたい方のために詳細な情報を開示しています。

今後の活動に活かすため、外部の方から率直なご意見をいただき、ステークホルダーメッセージとして掲載しています。

### 2 2002年度の環境保全活動のハイライト

全車両に占める省エネルギー車両の比率は、前年度より5ポイント増加し、68%となりました。

【2005年度目標：80%】

地球温暖化防止のための取り組みであるCO<sub>2</sub>の削減については、1990年度に比較して16%の削減となりました。【2005年度目標：20%削減】

駅や列車でお客さまが出されるゴミのリサイクル率は、37%となりました。【2005年度目標：40%】

車両工場廃棄物のリサイクル率は前年度より3ポイント向上して74%へ【2005年度目標：75%】、設備工事の廃棄物は同じく8ポイント向上して84%となりました。【2005年度目標：85%】

2002年度で完了予定としていた東北・上越新幹線の「住宅立地地域」での騒音対策は、予定通り75dB以下とすることができました。

詳しくは、「社会環境報告書2003」をご覧ください。なお、「社会環境報告書2003」は当社ホームページ (<http://www.jreast.co.jp/eco/>) でもご覧いただくことができます。